

[機構について](#) > [情報提供活動](#) > [動画で見る企業事例「企業未来！チャレンジ21」](#) > [2002年放送分\(非公開\)](#) > 11月9日放送 虫の研究で勝負！～大阪・薬メーカーの21世紀戦略～

## 11月9日放送 虫の研究で勝負！～大阪・薬メーカーの21世紀戦略～

9日(TX・TVO)

10日(TVA・TVH・TVQ・RCC)

11日(BSJ)放送

中小製造業が集積する東大阪にあって代表的なOEMメーカーの(株)大阪製薬(資本金9,500万円、従業員100名)は、長年に培った研究とノウハウを活かし、防虫剤、殺虫剤、消臭剤、芳香剤など、家庭で愛用される身近な製品の生産を担っている。大手メーカーと連携・協力しつつ、中小製造業の夢を実現している同社にその例を見る。

### 虫の研究で勝負！

～大阪・薬メーカーの21世紀戦略～

[視聴覚教材No. TV14-32](#)

[動画配信中\(新規ウィンドウ\)](#)



「大阪製薬岡野社長と十日市さん」

今回は、いつも番組でナレーションを読んでいる十日市さんが取材！昆虫のスペシャリストが集まっている会社があると聞いて、東大阪にやってきました。

虫関連に特化しているこの大阪製薬は、創業1888年と古い歴史を誇る。商品の大半を大手製薬メーカーのブランド名で生産し、市場に供給。これは、独自の研究開発力の高さによるもの。



「岡野社長」



「20世紀は微生物の時代でしたが、21世紀は昆虫の不思議を利用したもっと高度な時代になるだろう。」

と語る岡野社長。

さっそく、この会社が開発した商品を見せて頂くことに！

ハチが自分の巣を守るために抗菌剤を作っている。  
それを使用した育毛剤。



ハチが作り出すローヤルゼリーを利用したリップクリーム。

ペットに1、2滴たらすとノミが寄ってこないという商品は、日本で最初に発売した。



この会社が、いろいろな商品を開発してい



ることに驚く十日市さん。  
その戦略は…

POINT: 最初に作り市場のシェアを取る



高い研究開発力を持っているのは、昆虫研究の第一人者で、大阪府公衆衛生研究所を退官した武衛さんを顧問に迎えたことがきっかけ。



「顧問の武衛さん」



「武衛さんと研究者」

武衛さんを顧問に迎えるまでは、虫の飼い方すら判らなかった。  
今では、研究に使う昆虫は社内で飼育。  
日本でもトップクラスの研究体制を誇る。

体温に反応して、跳ねるノミ。





虫除けを塗って、蚊かごに手を入れる研究者。

8名の研究者で、差別化された今までにない商品を作る！

POINT: 開発したモノをいかに早く商品化するか

POINT: 一気に市場を占領する！



次に訪ねたのは生産の現場。

製造ラインも自社で組み立てるなど、徹底したコストダウンのための努力と工夫が行われている。



「井ノ下工場長」



「これからは虫を殺すと言うより、『虫を寄せ付けない』ことを目指す。」と社長は語る。

[ひとつ上の階層へ](#)

[利用規約](#) [法的事項](#) [プライバシーポリシー](#)

Copyright©2007 Organization for Small & Medium Enterprises and Regional Innovation, JAPAN